長野高校（普通科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史 改訂版（山川出版）						
副教材等	最新日本史図表（第一学習社）二訂版 詳説日本史学習ノート 上 改訂版						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２ 学習の到達目標

・諸資料を読み解き、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を日本の歴史と結び付け、歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、日本人として国際社会に主体的に参加しようとする姿勢を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本を中心とする歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に参加しようとする意欲、態度を示している。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本を中心とする歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本を中心とする歴史についての基本的な事柄を地理的条件や国際環境と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歴史へのアプローチ	・大仏造立をめぐる歴史資料 ・中世の商品流通 ・朝鮮通信使	○	○	○	○	a:歴史資料と組み立てられた歴史像のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や国際環境と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	原始・古代の日本と東アジア	日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族政治と国風文化	○	○ ○	○ ○	○	a:原始の時代を経て、律令体制の確立、荘園・公領の動きや武士の台頭、文化の特色とその成立について関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b:古代国家が形成される過程と推移に特質を見出し、東アジア世界などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:古代国家形成の過程と推移について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	中世の日本と東アジア	・中世国家の形成 ・中世社会の展開	○ ○	○	○	○	a:武士の土地支配と王朝との関係、武家政権の形成過程と仕組み、庶民の台頭と下剋上、庶民文化の萌芽などに対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:時代の特質を見い出し、東アジア世界や仏教の動向などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:武士の土地支配と公武関係、中世国家の形成過程と仕組み、庶民の台頭と下剋上、庶民文化の萌芽について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	近世の日本と世界	・幕藩体制の確立 ・幕藩体制の展開 ・幕藩体制の動揺	○	 ○ ○	 ○	○ ○	a:織豊政権と幕藩体制の政治・経済基盤、身分制や儒学の役割、幕藩体制の変容、欧米諸国のアジア進出に関して、関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b: 時代の特質を見出し、学問・思想に関連付け多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:織豊政権と幕藩体制の政治・経済基盤、身分制度や儒学の役割、幕藩体制の変容、欧米諸国のアジア進出について理解し、の知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	二つの世界大戦	・明治維新と立憲体制の成立 ・国際関係の推移と立憲国家の展開 ・近代産業の発展と近代文化	 ○	 ○ ○	○ ○	○	a:開国と幕府の滅亡、文明開化、自由民権運動や日清・日露戦争前後の社会変化、近代産業や文化の特色などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:近代国家が形成される過程とその推移に特質を見出し、欧米の文化・思想や国際関係などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 C 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:近代国家が形成される過程とその推移について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	両世界大戦期の日本と世界	・政党政治の発展と大衆社会の形成 ・第一次世界大戦と日本の社会・経済 ・第二次世界大戦と日本	○ ○	○ ○		 ○ ○	a:政治や社会運動の動向、国際社会の中に立つ日本の立場に着目し、両世界大戦前後の対外政策の推移や国内におよぼした影響などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:近代国家の展開と社会や文化が形成される過程とその推移に特質を見出し、政党政治や大衆社会などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 C 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:政治や社会運動の動向、国際社会の中に立つ日本の立場に着目し、両世界大戦前後の対外政策の推移や国内におよぼした影響などについて理解し、その知識を身に付けている。	

3学期	現代の日本と世界	・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本	○	○ ○	○	○ ○	a:占領政策と民主化、新憲法の制定、平和条約締結と独立、日本経済の発展と国民生活の変化に対して関心を持ち、意欲的に追究しようとしている b:第二次世界大戦後の日本について、現在の政治・経済の動向と関連付け、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の日本の課題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の日本についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	持続可能な社会への展望	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察し適切に表現している。 c:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。